

危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(3)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第4類の危険物は引火性の液体である。【 】
- (2) 第4類の危険物の蒸気と空気の混合物は、いかなる混合割合でも燃える。【 】
- (3) 重油の火災に、泡消火器は効果がある。【 】
- (4) 第4類の危険物の蒸気は空気より軽いため、高所の換気を十分に行う。【 】
- (5) 特殊引火物には、水に溶けるものもある。【 】
- (6) アセトアルデヒドは刺激臭のある無色の液体である。【 】
- (7) ジエチルエーテルの蒸気は麻醉性があり、水よりやや重い。【 】
- (8) ガソリンの主成分は炭化水素である。【 】
- (9) ベンゼンは一般に、樹脂や油脂等をよく溶かす。【 】
- (10) メタノールは無色の有毒な液体である。【 】
- (11) 第2石油類が霧状の場合、引火点以下の温度でも着火することがある。【 】
- (12) アクリル酸は、光や熱、過酸化物、鉄さびなどにより重合が加速する。【 】
- (13) 軽油の蒸気は空気より4から5倍重い。【 】
- (14) クレオソート油は有機溶剤や水によく溶ける。【 】
- (15) 動植物油類は水に溶けない。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(3)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第4類の危険物は引火性の液体である。 【○】
引火性の液体である。
- (2) 第4類の危険物の蒸気と空気の混合物は、いかなる混合割合でも燃える。 【×】
一定範囲内のときに燃える。燃焼範囲。
- (3) 重油の火災に、泡消火器は効果がある。 【○】
泡消火器は効果がある。
- (4) 第4類の危険物の蒸気は空気より軽いため、高所の換気を十分に行う。 【×】
一般に空気より重い。
- (5) 特殊引火物には、水に溶けるものもある。 【○】
水に溶けるものもある。
- (6) アセトアルデヒドは刺激臭のある無色の液体である。 【○】
刺激臭のある無色の液体である。
- (7) ジエチルエーテルの蒸気は麻醉性があり、水よりやや重い。 【×】
比重は0.7で、水より軽い。
- (8) ガソリンの主成分は炭化水素である。 【○】
主成分は炭化水素。混合物。
- (9) ベンゼンは一般に、樹脂や油脂等をよく溶かす。 【○】
樹脂や油脂等をよく溶かす。
- (10) メタノールは無色の有毒な液体である。 【○】
無色の有毒な液体である。
- (11) 第2石油類が霧状の場合、引火点以下の温度でも着火することがある。 【○】
引火点以下であっても、霧状にすると引火しやすい。
- (12) アクリル酸は、光や熱、過酸化物、鉄さびなどにより重合が加速する。 【○】
光や熱、過酸化物、鉄さびなどにより重合が加速する。
- (13) 軽油の蒸気は空気より4から5倍重い。 【○】
蒸気比重は4.5で、空気より4から5倍重い。
- (14) クレオソート油は有機溶剤や水によく溶ける。 【×】
有機溶剤に溶けるが、水に溶けない。
- (15) 動植物油類は水に溶けない。 【○】
水に溶けない。